

# 営農速報

令和5年3月1日

第3号

圃場に融雪材を撒いて融雪促進に努めましょう。

2月28日現在の積雪量は美唄で122cm（平年比140%）岩見沢で118cm（平年比127%）と平年値を上回っており、融雪には時間を要する事が予想されます。

令和4年産水稻の低蛋白・高整粒となった要因の一つに春先の乾田期間が長くとれたことで土中窒素が適度に溶出され、生育後半の窒素溶出を抑制出来たことが上がる為、融雪を可能な限り早く進めましょう。

○散布適期 : 平均気温-3℃以上続くようになった頃

○時期の目安 : 3月上旬より

○留意点 : 天気がいい日で風が弱い朝に実施する  
日陰や吹きだまりを重点的に散布

※融雪材散布後、20cm以上の積雪があった場合には融雪材を再散布しましょう。

○主な資材と散布量＜目安＞

資材名	10a当たりの散布量	備 考
防散融雪炭カル	60~100kg	畑作圃場に使用
粒状ケイカル		水稻作付圃場に使用

J A み ね の ぶ 営 農 販 売 課

TEL 0126-67-2334 FAX 0126-67-2803